

まちづくり提言の公表（令和5年9月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
周南公立大学の実効性について	<p>周南公立大学の設立（改革）のメリットの一つとして「市の活性化につながる」と説明がありましたが、全然つながっていない印象です。大学は市街の外れにあります。その周辺に住んでいる学生は、櫛ヶ浜駅まで移動するよりは、近くて便利で安価なショッピングセンター周辺で留まってしまいます。</p> <p>一方、車を持つ学生は、キャパがなくて有料の駐車場しかない徳山駅周辺で遊ぶ動機はあまりないです。映画館やボーリング場、カラオケなどが一か所にまとまっていて、駐車場がたくさんある近隣市に向かいます。</p> <p>学生が増えたことはしきりに報道されるけど、かといって中心部への賑わいの波及をほとんど感じません。徳山という地域性を一つのアピールポイントにしておきながら、都市機能である駅前商店街や、文化的機能としての図書館・美術館などが、大学から完全に切り離されている印象です。</p> <p>若い人たちがこれらの施設周辺を歩いている姿を見たことがありますか。こうして市民は変化もメリットも感じないから、未だに公立大学に対してネガティブな意見が聞かれるのではないですか。</p> <p>もっと中心市街に大学の機能呼び込んでほしいです。駅前図書館の一角を借りてデスクを2、3台置いただけの「サテライトキャンパス」ではなくて、あるいは、たまのイベントや祭りに学生たちを参加させるだけじゃなくて、もっと日常的に学生が駅周辺を利活用できるように仕組みを検討してほしいです。駅周辺には山ほどの空きテナントや、使っていない土地があるのだから、商業店舗の誘致が見込めないなら、別の方向から役立てるべきだと思います。例えば、学生寮であったり、サークル活動や研究室用の拠点用の部屋としてフロアを借りたり、文化活動専用のスペースであったり、職員の窓口としての活用であったり、市内のバイト探しの提携拠点であったりです。</p> <p>何かしらの拠点性があれば、そこを起点にして商店街にも人が流れていきます。商店街に本当に魅力のあるあるなら口コミで広がっていくはずです。せっかくある市の文化的機能と学生たちをつなげてほしいです。</p>	<p>ご意見にありましたように周南公立大学はJR徳山駅前の中心市街地からは離れた場所にあり、特に大学周辺に居住する学生は大学近隣の商業施設を利用するという声を聞いております。一方で、公立化以降、徳山駅発の大学行きバスが増便しており、駅前で若者の姿を見かけることが多くなりました。周南市は近隣他市にない美術博物館や動物園を有する文化的風土のあるまちであり、令和6年春には、新たな商業施設を含めた徳山駅前の再開発エリアが全面的にオープンする予定です。</p> <p>こうしたまちの動きを学生にも知ってもらえるよう引き続きPRに努めるとともに、市内に居住する学生、市外から通学する学生とともに、徳山駅を交通手段として利用するだけでなく、中心市街地に呼び込む仕組みを検討してまいります。</p> <p>また、本市では中心市街地だけでなく、市内の様々な場所で学生が活動することでまち全体の賑わいが創出されることを目指しています。現在も、学生によるボランティア活動など大学において様々な取組が進められており、市では引き続き必要な支援を行ってまいります。</p>	企画課
学童保育の開始時間について	<p>学童保育の開始時間について、子どもの受け入れは朝8時からとの認識ですが、7時半からの受け入れをご検討お願いできないでしょうか。勤務先の始業時間の関係となります。転勤族で頼れるところもありませんので、前向きにご検討いただけると幸いです。</p>	<p>「長期休業など学校休業日において児童クラブ開所時間の午前8時に合わせた送迎が困難なため、午前8時前の開所希望」につきましては、確かに保護者の就労状況などの理由により、開所時間内の送迎が困難な場合もあると思われれます。</p> <p>しかしながら、児童クラブの運営にあたりましては、毎年、200人を超える支援員と補助員を会計年度任用職員として雇用する必要があるため、また、利用する児童が増加する夏期休業期間においては、さらに100人を超える補助員を追加で雇用する必要があるため、人材の確保に大変苦慮しているのが実情です。現在行っています夕方の延長保育に加え、開所時間の前倒しによる保育時間のさらなる延長に対応することは、人材確保の観点から困難であるのが現状です。</p> <p>今後も引き続き人材確保に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>	生涯学習課

まちづくり提言の公表（令和5年9月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
自治会での 広報配りに ついて	<p>自治会の活動について、特に広報配りが負担となっています。毎月10キロの重さの配布物を抱えて班長さんのお宅へ一軒一軒お渡しして回っています。その後自身の所属する班分10件強の配布です。高齢者にこの重労働は大変な重圧で、市広報の配布をするとその日1日動けなくなります。</p> <p>また、纏めて配布していただけないため配布が終わった後に追加があり、またやり直しとなり、大変な負担です。他所の班長さんにもご迷惑をおかけしています。広報自体を廃止していただくか、広報を配布したいのであれば外部委託にしてください。</p> <p>土日は祖母の介護もありますし、家事の他にも細々とした雑務もあります。私自身は実家を離れた身で、関東に住んでいるため手伝いは帰省時しかできませんのでいつも母1人でおこなっています。過疎化が進む周南市ではこんな家庭は珍しくはないのではないのでしょうか。</p>	<p>周南市では「広報しゅうなん」は、自治会のご協力により配布を行っております。高齢化による担い手不足という点で課題もありますが、市広報紙の配布を通じて、ポストに郵便物が溜まっていないか、変わった様子はないかなどを確認することで、高齢世帯やひとり暮らし世帯の見守りにつながる側面があること、郵送やポストイングなどで個別に配布する方法は大幅な予算の増額が必要あり、導入に当たっては慎重な判断を行う必要があること、郵送やポストイングでは市からの他の刊行物の配布が困難になること、市広報紙や市からのお知らせ等の配布を行っていただくことで、市から自治会に支払われる広報等配布報償金が自治会活動の資金の一部となっている自治会があることなどから、自治会を通じた配布を今後も継続していきたいと考えています。</p> <p>また、自治会によっては会長が配布するのではなく、専任の方が配布をするなどの取組を行い会長の負担を減らしている自治会もあるようでございますので、ご紹介させていただきます。</p>	広報戦略課
湯野温泉の 再開発	<p>湯野温泉活性化のため、昨今大流行であり且つまた今後も定着するであろうサウナを導入してはいかがでしょうか。私はサウナをよく利用し全国あちこちのサウナ施設に行きますが、山口はまだサウナ後進県であるので、逆を言えば伸び代があると思います。</p> <p>全国回ってみての提言として、必ず冷却機能付きの水風呂を設置すべきです。熱くなった身体を冷やさないと整わないからであるにもかかわらず、県内には冷却機能付きの水風呂がほとんどありません。近隣市に一か所のみです。だからいつもそこは満杯で、皆新たなサウナ施設ができるのを待ち望んでいます。あと、忘れてはならないのが、外気浴場です。そこにはリクライニングできる椅子を何脚か設置してほしいです。リクライニングでよりよく整うことができるからです。ご検討よろしくお願ひします。</p>	<p>現在、湯野温泉郷では民間の温泉旅館2軒が営業しており、昨年度、ともに大規模なリニューアルを実施されたところです。</p> <p>本リニューアルでは、各温泉旅館がフロントや客室、露天風呂、レストランなどを改修され、今後はサウナ備え付けの立ち寄り温浴施設も設置予定であると伺っております。</p> <p>令和3年度に廃止した国民宿舎湯野荘の土地等については、令和4年度をもって、市から湯野地域が立ち上げた法人に譲与しましたが、同法人では、この土地等を活用して湯野地域の観光振興及び地域活性化を図るため、露天風呂やカフェなどを備えた日帰り温泉施設のオープンに向けて取り組まれているところです。</p> <p>市の施設としては湯野地域に温浴施設を有しておりませんが、ご提言の内容につきましては湯野温泉郷の更なる魅力向上に向けたご意見のひとつとして、温泉旅館2軒と地域が立ち上げた法人にお伝えいたします。今後とも湯野温泉郷をご利用くださいますよう、お願いいたします。</p>	観光交流課